

**[記入例1 前年中に給与収入があった方]**

令和4年度(2022年度) 特別区民税・都民税申告書  
練馬区長あて

令和 年 月 日 提出 ※下記の太線内には必ずご記入ください。

フリガナ **ネリマ タロウ** 生年月日 明・大・昭・平・令  
氏名 **練馬 太郎** 36・3・16

4年1月1日現在の住所 練馬区 **豊玉北 6-12-1**  
現在の住所 **同上**

電話 **3993-1111**

個人番号(マイナンバー) 姓名番号

※「個人番号」欄には、個人番号(行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。)を記載してください。【本人以外の方が記入された場合】

### ① 所得金額

※収入(所得)がなかった方は裏面1を記入してください。※添付書類は申告書に、ホチキス留めてください。(のり付け不可)

前年中(1月1日から12月31日)の状況について

A 収入金額	B 必要経費	所得金額(A-B)
<b>給与(源泉徴収票添付)</b> *源泉徴収票の支払金額(複数ある場合は合計)を右のGに記入してください。 *源泉徴収票がない場合は裏面2の給与明細を記入し、合計を右のGに記入してください。		給与収入 <b>G 6,000,000</b> 円
<b>公的年金等(源泉徴収票添付)</b> *遺族・障害年金等は記入せず、裏面1の3に記入してください。 *公的年金等の源泉徴収票の支払金額(複数ある場合は合計)を右のKに記入してください。		公的年金等収入 <b>K 1,860,000</b> 円
雑所得(業務)		① 円
雑所得(その他)		② 円
営業等		③ 円
不動産		④ 円
配当(総合) ※裏面5も記入してください。		⑤ 円
総合譲渡(短期・長期・一時) ※該当に○を付けてください。	特別除除	⑥ (長期+一時)×1/2+短期 円*
農業	青色申告特別除除	⑦ 円
利子		⑧ 円*

※分離譲渡所得等を申告する方は裏面10に記入してください。 練馬区記入欄⇒

### ② 所得から差し引く金額(その1)

※d欄には、10万円が所得の合計額×5%のいずれか少ないほうを記入してください。セルフレディケーション税制を選択した場合は12,000円を記入し、区分に○を付けてください。

医療費控除(明細書添付) a.支払った医療費等 b.補てんされる金額 c.差引金額(a-b) d.* 区分 控除金額(c-d)	円	円	円	円
社会保険料控除 e.国民年金・後期高齢者医療・介護保険料支払額 f.国民年金等支払額(源泉徴収票添付) g.源泉徴収票の社会保険料控除額	円	円	円 <b>78,200</b>	円 <b>78,200</b>
小規模企業共済等掛金控除(証明書原本添付) 『小規模企業共済等掛金』(確定拠出年金加入者掛金(個人型・企業型)・1心身障害者扶養共済掛金の合計額)	円	円	円	円
生命保険料控除(証明書原本添付) h.一般生命保険料支払額 i.介護医療保険料支払額 j.介護医療保険料控除額	円	円	円	円 <b>50,000</b>
地震保険料控除(証明書原本添付) k.地震保険支払額 l.旧長期損害保険支払額 m.源泉徴収票の地震保険料控除額	円	円	円 <b>22,000</b>	円 <b>50,000</b>
雑損控除(証明書原本添付) n.損害の原因 o.損害の額 p.補てんされる金額 q.差し引かれる金額 r.雑損控除(h-o+q) s.雑損控除の控除額	円	円	円	円 <b>円</b>

給与・公的年金等に係る所得以外(令和4年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の住民税の納付方法 ※選択する場合は○で囲んでください。

給与から差し引き(特別徴収) 自分で納付(普通徴収) 円

### ③ 所得から差し引く金額(その2)

★国外居住者を扶養控除等の対象とする場合は、「親族関係書類」および「送金関係書類」(これらの書類が外国語で記載されている場合は、日本語の翻訳文を含む。)の添付が必要です。

#### 本人控除

☆障害者控除の申告をする場合は、障害者手帳の写し(手帳がない方は、「障害者控除対象者認定書」や「成年後見登記事項証明書」)の添付が必要です。

障害者控除(証明書等添付)★ 身体・精神 級 / 障害者認定 (障害程度) 度 / 成年後見 (障害程度) 度 / 成年後見 (障害程度) 度	寡婦	ひとり親	勤労学生(証明書添付)
死亡・離別・生死不明	事由発生 昭・平・令 年 月		学校名

#### 配偶者控除(同一生計配偶者含む)

※申告者の前年中の合計所得が1,000万円を超えていても、配偶者の合計所得が40万円以下の場合、記入してください。

(控除)対象者 氏名・個人番号	続柄	生年月日	障害の程度(証明書添付)☆	区分	別居の場合の住所
練馬 花子	配偶者	36・9・27	身体・精神 級 (障害程度) 度 (障害程度) 度 (障害程度) 度	同居	

#### 配偶者特別控除

※申告者の前年中の合計所得が1,000万円以下で、配偶者の合計所得が48万円超133万円以下の場合、記入してください。合計所得の算出方法は手引き(所得の速算表)を参照してください。

配偶者 年金額 円 配偶者 給与収入 円 配偶者の合計所得 円 配偶者特別控除額 円

#### 扶養控除

控除対象者 氏名・個人番号	続柄	生年月日	障害の程度(証明書添付)☆	区分	別居の場合の住所
練馬 一郎	子	5・6・8	身体・精神 級 (障害程度) 度 (障害程度) 度 (障害程度) 度	同居	〇〇市△△1-23
練馬 二郎	子	12・9・23	身体・精神 級 (障害程度) 度 (障害程度) 度 (障害程度) 度	同居	
練馬 三郎	子	21・5・5	身体・精神 級 (障害程度) 度 (障害程度) 度 (障害程度) 度	同居	

※16歳未満の扶養親族(平成18年1月2日以降生)は以下に記入してください。(控除対象外)

16歳未満 氏名・個人番号	続柄	生年月日	障害の程度(証明書添付)☆	区分	別居の場合の住所
練馬 三郎	子	平成・令和	身体・精神 級 (障害程度) 度 (障害程度) 度 (障害程度) 度	同居	

#### 4 所得から差し引く金額(合計額)

※G、Hの「所得から差し引く金額」に記入された場合は、F所得から差し引く金額(合計額)への記入は不要です。

#### 5 税額控除

##### 住宅ローン控除に関する事項

(年未調整済の源泉徴収票添付)

所得税の住宅ローン控除を受ける住宅等の区分	居住開始年月日	所得税の住宅借入金等特別控除可能額	所得税の住宅借入金等特別控除額	特別特定取得
新築又は購入	平成 30年3月1日	250,000	126,600	
増改築等	平成 年月日			

##### 寄附金に関する事項

(証明書原本添付)\*

都道府県、区、市町村分(ふるさと納税) ※特別控除対象	円
東京都共同基金、日本赤十字社東京都支部 東京都府、区、市町村分 ※特別控除対象以外	円
東京都府、区、市町村分 ※特別控除対象以外	円
練馬区	円

##### 配当割額または株式等譲渡所得割額の控除に関する事項

(住民税が源泉徴収されている明細書添付)

配当割額控除額 円 株式等譲渡所得割額控除額 円

※所得金額調整控除に関する事項は、裏面9に記入してください。

令和3年分 給与所得の源泉徴収票

住所又は居所 練馬区豊玉北 6-12-1

支払を受ける者(氏名) 練馬 太郎

種別	支払金額	給与所得控除後の金額(調整控除後)	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給与・賞与	6,000,000	4,360,000	2,118,200	0
源泉)控除対象配偶者の有無等	控除額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)	障害者の数(本人を除く。)	非居住者である親族の数
有	380,000	1	1	1
有	78,200	1	1	1

社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
78,200	120,000	50,000	126,600

源泉徴収票の金額の内訳

新築住宅等特別控除(国庫)	1	30	3	1	住	25,000,000
住宅借入金等特別控除(国庫)						
住宅借入金等特別控除(国庫)						
(ア)源泉徴収票の金額	源泉徴収票の金額	源泉徴収票の金額	源泉徴収票の金額	源泉徴収票の金額	源泉徴収票の金額	源泉徴収票の金額
練馬 花子	練馬 三郎	練馬 太郎	練馬 三郎	練馬 太郎	練馬 三郎	練馬 太郎

未成人者 昭和 36 3 16

支払者(住所)又は所在地 練馬区豊玉北 6-12-1 (電話)

**[記入例2 前年中に公的年金等収入があった方]**

令和3年分 公的年金等の源泉徴収票

支払を受ける者(フリガナ) 氏名 生年月日

区分	支払金額	源泉徴収税額
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分	1 860 千 000	円
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分		
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分		
所得税法第203条の3第7号適用分		

本 人	源泉控除対象配偶者の有無等	控除対象扶養親族の数	16歳未満の扶養親族の数	障害者の数	非居住者である親族の数	社会保険料の額
		人	人	人	人	78 千 200

### ② 必要経費

は合計)を右のGに記入してください。明細を記入し、合計を右のGに記入してください。

### 所得金額(A-B)

G 円 公的年金等収入 K 1,860,000 円

d.\* 控除金額(c-d) 78,200 円 控除金額(e+f+g) 78,200 円

**[記入例3 前年中に収入(所得)がなかった方]** 裏面

※ 表面の一番上、太枠内もご記入ください。  
※ 扶養・寡婦・障害者などで該当する控除があれば、表面の各欄にもご記入ください。

### 1 令和3年中に収入(所得)がなかった方の記入欄(申出書)

非課税証明書の交付を受ける場合には、住民税の申告が必要です。また、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料等は、住民税の申告内容に基づき算定されますので、前年中に収入(所得)がなかった場合でも、該当項目に☑を入れ必要事項を記入してください。

①  下記の人(親族等)に扶養または援助されていた。  
【続柄】 □配偶者  親 □その他 ( )  
【氏名】 **大泉 一郎** 【住所】 □同居  別居(現住所記入) **練馬区石神井町 3-30-26**

②  雇用保険(失業給付・育児休業給付)を 年 月から[ア 年 月]まで受けていた。/イ 受給中である。]

③  遺族年金・障害年金・(その他) ( ) ( )の給付を受けていた。(該当に○を付けてください)

④  生活扶助を 年 月から[ア 年 月]まで受けていた。/イ 受給中である。]

⑤  預貯金で生活していた。

⑥  その他(具体的に記入してください。)\* アルバイト収入等があった方はこの欄に記入せず、源泉徴収票を添付するか下記2に記入してください。